

植栽参考事例集(事業者)

株式会社テクノ中部 本店ビル屋上ビオトープ



緑化の課題

- **屋上ならではの課題を克服:** 屋上の耐荷重制限により、整備可能な面積は限られていましたが、その中で樹林や水辺といった多様な環境を創出しました。また、屋上への池や水路の整備にはクレーンでの資材吊り上げが必要だったため、隣接する北館の工事と連携して計画・施工を進めました。

緑化の工夫

- **生物多様性を高める工夫:**
 - 野鳥が好む実のなる植物や、昆虫が集まる蜜源植物・チョウの幼虫の食餌植物を主体に植栽しています。
 - 限られた面積の中で水路を蛇行させることで、水辺の面積を最大限に確保しました。
 - 多様な水辺の動植物が生息・生育できる湿地環境として水田を配置しました。

都市の屋上に再現された「なごやの里山」

■ 基本情報

- **所在地:** 名古屋市港区大江町 3-12
- **面積:** 0.020ha (約 180 m²)、うち植栽面積は約 120 m²
- **整備時期:** 1997年8月～1998年10月 (本店ビル隣接の北館ビル建設に併せて整備)
- **体制:** 計画・設計・植栽は株式会社テクノ中部 (植栽は社員自ら実施)

■ 目標とした自然の姿

名古屋近郊の里山の景観をモデルとし、ため池・水路の水辺植生、水田の畦畔や畑地周辺の草地、雑木林の再現を目指しています。

■ 主な植栽植物と種苗の由来

- **植栽種:** エノキ、アベマキ、ヤブツバキなどの樹木や、セリ、カンガレイ、クワイなどの水生植物、ツユクサやノシバなどの草本類など、在来種を中心に構成されています。
- **由来:** 市販の苗木購入に加え、名古屋近郊の田畑や水路等から移植を行いました。また、水田用の土や移植時の土に混じって自然に侵入したと考えられる植物も生育しています。

